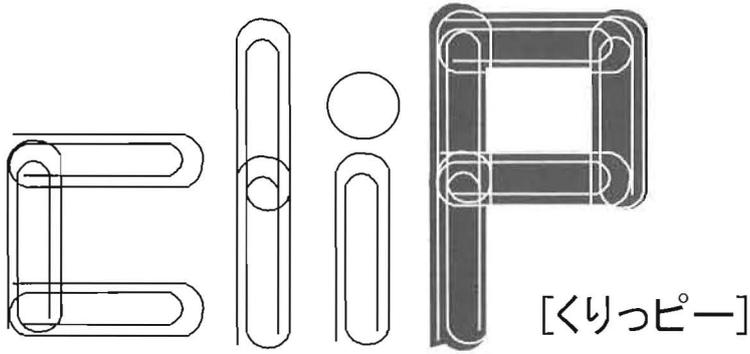




八千代市国際交流協会ニュース

第4号



[くりっピー]

▼タイラー市役所前で記念撮影をする親善訪問団



10月16日が「八千代市の日」に

第8回目となるタイラー市への親善訪問団（団長／周郷紀男氏ほか17名）が平成20年10月15日（水）から10月23日（木）の日程で、タイラー市を親善訪問いたしました。今回は、毎年10月に行われるローズフェスティバルの見学やホームビジットを通じた市民交流などが主な内容です。それでは写真などを通して振り返ってみましょう。

今回は今までと異なり、ダラス・フォートワースには泊まらずにタイラー市へバスで直接向かい、午後の早い時間に着きました。翌10月16日、市長表敬訪問がありました。これまで男性ばかりであった市長さんに、初めて女性のバーバラ・バス市長さんが昨年5月に就任したとのことでした。

この日は大きな出来事が3つありました。1つ目は周郷会長と豊田市長がタイラー市名誉市民に選ばれたことです。選ばれた二人は「大変名誉なことです」と嬉しそうな表情を見せていました。2つ目はタイラー市長とタイラー市議会は、八千代市の訪問団が訪れた10月16日を「八千代市の日」と決定しました。また、3つ目として市庁舎前に国際姉妹都市の交流を促進するため、タイラー市では「シスターシティズ・ローズガーデン」を開設し、それを記念してテープカットが行われました。このローズガーデンは、八千代市の訪問に合わせてオープンされました。4つのコーナーに分けられたローズガーデンのうち、黄色のテキサスローズがきれいに植えてあるコーナーを「八千代コーナー」として訪問団の希望を取り入れていただき、決まりました。また、17日の夜は、ローズ・クイーン戴冠

式の見学。写真はだめということで、大変きれいな舞台の様子はお見せできませんが、今年は75回目という記念すべき大会で、これまでローズ・クイーンに輝いた女性が多く出場し、とても華やかで訪問団員の中からもため息がでるほどでした。翌日はローズ・パレード。周郷会長ご夫妻、豊田市長ご夫妻、そしてタイラー姉妹都市委員会の要請によりヒューストン総領事の大沢ご夫妻の3組が車でパレードに参加しました。このほか、皆さんからのお招きによるホームビジットでは、当親善訪問団を快く迎えていただいたことは、言うまでもありません。

また、今回お世話になった団体の1つに、タイラー日本人会があります。普段は会員同士の交流などが行われているのですが、訪問団の受け入れに当たり、ホームビジット2名、さよならパーティー3名の方に通訳としてご協力していただき、大変助かりました。心から感謝いたします。なお、10月20日、タイラーを去らなければならない日は、「また会いましょう」という声が皆さんから出ていました。

れもそのはずで、大学を卒業していきなり就職して忙しい毎日を2年間経験し、海外に行ける時間などなかったからです。今思えば無限に時間のある大学時代に、なぜ海外に行かなかったのかと思っています。しかし、この時もあまり行く気ではありませんでした。締め切りのまじかまでどうしようかと迷いましたが、行くことを決意しました。

「始めなければ0、始めれば1」

2 ハジマリ

そして、月日は流れあつという間に渡米する日が来てしまいました。成田空港を出発し、ダラス・フォートワース空港へ到着しました。以前も海外に行ったときに感じましたが、到着した国にはその国の匂いがあります。どんな匂いと言われると説明はしがたいので

●訪問を終えて

旅 = 世界

井出 雄己



1 キッカケ

私は24歳。今は仕事をしていません。今年の4月に自衛隊を退職し、専門学校に通っています。そもそも姉妹都市タイラー・シティ親善訪問団に行くきっかけになったのは、父が話を持ちかけてきたものでした。父は以前にもこの訪問団に3回くらい行ったらしく、私は以前にも行く機会があったのですが、乗り気になれず行くのを止めたこともありました。しかし、今は以前の感覚とは少し違っていったような気がします。そ



▲「八千代市の日」を記念してテープカットをする両市長と周郷会長（10月16日）

▼記念に置かれたベンチで記念撮影。左からヘンリー・ベル会長、バーバラ・バス市長、豊田市長、周郷会長（10月16日）



▲姉妹都市提携した1992年が刻まれたネームプレート（10月16日）

▼タイラー市名誉市民の記念の鍵を受け取る豊田市長（10月16日）



●訪問を終えて

双方とも深まる友情

八千代市国際交流協会会長 周郷紀男

今回の訪問は、八千代市民にとっては8回目となるわけですが、友情は双方ともより深まっていく感じがします。タイラー市として「八千代市の日」を制定してくださり、記念プレートが金色に輝く、シティホール前のローズガーデンには、八千代のバラに決まった黄色のテキサスローズが誇らしげに咲いていました。訪れるたびにアメリカにいる親戚に会ったような気分になります。ホスピタリティと表現されるおもてなしや心遣いに、国際交流の原点を見るような気がします。良い交流が長く続くことを願っています。

すが、とにかく独特な匂いです。周りを見れば、あっちもこっちも外国人ばかりです。勿論、日本語を話しているわけではありません。すべて英語。今回、行くことを決心したのは、今、専門学校で英語を勉強しており、どのくらい話せるのかを試してみたかったからです。しかし、英語を勉強している割には、全然使えるレベルではないことは誰が見ても歴然でした。本当は昔も英語を勉強したことがありますが、実は挫折したことがありました。ですから、ずっともう一度チャレンジしたいと思っていました。

「チャンスとは、いつも突発的しかし必然」

3 キズク

チャレンジとは言ったものの、1日目はハードでした。外人の言っていることは半分以上分かりませんで

した。しかし、訪問団としての行事は進行していき、何とか1日目が終わりました。2日目。変化は起こりました。耳が英語に慣れてきたのです。それは3日目・4日目とどんどん慣れていくのです。話すのが少しずつ楽しくなってきたのです。とは言っても汚い英語で、めちゃくちゃな英語ですが、確実に通じていました。そもそも英検1級じゃないといけなとか、TOEIC何点以上じゃないということは問題ではありません。私も含め多くの人たちが変な壁を作ってしまっているのではないのでしょうか。会話は思った以上に簡単な単語と文章で通じるのです。例えるなら、机の上で何冊も自転車に乗る本を読んでも、1回実際に自転車に乗るのとでは、上達のスピードは明らかに違います。英語ができない私が言うのですから、これほどの証拠 (次のページへ)



▲ローズ・クイーンを囲み記念撮影をする豊田市長ご夫妻（左）とヒューストン総領事の沢大ご夫妻（右）（10月17日）



▲ローズパレードに参加する周郷会長ご夫妻

▼タイラー警察署見学後、スウインドル署長を囲み記念撮影（10月16日）



▲タイラー・ジュニア・カレッジで人気のあるチアリーダー・アパッチベルズと記念撮影（10月17日）

▼タイラー警察署でハーレイダビッドソンに試乗（10月16日）



▲さよならパーティーで交流を深め、笑顔でダンスをする会員たち（10月19日）



▲TJCで会話がはずむ若者同士（10月17日）



▶プレスリーのそっくりさんと本物のプレスリーのサングラスをかけた会長夫人（10月19日）

▼再び会えたシーバー前市長夫妻にプレゼントを渡す周郷会長（10月16日）



はないこととなります。

「机上の空論は1回の経験にはかなわない」

4 デアイ

それにしても1日目から多くの人と出会います。アメリカに行って一番思ったことは、誰もが親切ということです。訳の分らない英語を使いまくる私に、誰一人無視することはありませんでした。これは本当に驚きました。敬語も丁寧な英語も使えないのに…。でも完璧に伝わらないことには相手も相当困ったようです。タイラー市でアメリカの人と話したり生活を見て、アメリカ人は人生を楽しんでいると思いました。例えば、家に多くの人を呼んで、ホームパーティーをしたりダンスをしたりしています。しかも若者だけでなく、年配の方もダンスをするのには驚きました。

日本ではあまりホームパーティーはしないし、ましてダンスなどはしません。文化の違いだと言ってしまうかもしれませんが、同じ時間を生きてゆくのなら、楽しい方がいいと思いました。

「人生は笑った者勝ち」

5 ワカレ

月日は「光陰矢のごとし」というくらい早く流れてしまいます。あっという間に別れの日がやってきました。多くの人と話をしてくれて、またタイラーに来たら電話をしてくださいと言って名刺を私に渡してくれた人もいました。この旅に出なければ、きっと一生会わぬこともなく、名刺をもらえることもなかったと思っていました。当たり前のことですが、初めて出会ったときよりも距離が近くなった気がしました。

「旅は出会いの始まり」

6 カンソウ

多分、多くの方が旅行をしたいとは思っていても、なぜかいろいろな壁という名の障害を勝手に作っていると思います。失敗したらどうしようとか、違う国の言葉はしゃべれないから、行ったってしょうがないと思っている自分もそうでした。そんなちっぽけなことに悩んでいたのかと思うと、なんだか笑えてきます。世界は大きく分からないことだらけです。でもそこがおもしろいのです。重い腰を上げなければならぬいきっと単純なことなのです。行けば自分の世界は大きくなります。

「世界を見に行け」

■日程

期 日	内 容
10/15 (水)	成田空港発（11:30） ダラス・フォートワース空港着（8:50） バスでタイラー市へ。ホテル着（13:00）
10/16 (木)	ホテル発（10:00） 市長表敬訪問（10:30） タイラー市主催昼食会（12:00） タイラー市警察署見学（13:00） テキサス大学見学（14:30） ホテル発（17:30） タイラー姉妹都市委員会主催ウエルカムパーティー（18:00） ホテル着（21:30）
10/17 (金)	ホテル発（9:30） タイラー短期大学見学（10:00） タイラー短期大学主催レセプション及び昼食会（11:00） タイラー美術館見学（13:00） ローズガーデン等見学・お茶会（14:20） ホテル発（17:15） 姉妹都市委員会宅での夕食（17:30） ローズクイーン戴冠式見学（19:30） ホテル着（21:30）
10/18 (土)	ホテル発（市長夫妻・会長夫妻／8:00） ホテル発（訪問団／9:00） ローズパレード見学（9:30） 昼食（12:00） ショッピング（13:30） ホテル発（17:00） 姉妹都市委員会前会長セカンドハウスにて夕食（17:30） ホテル（21:00）
10/19 (日)	ホームビジット迎え（10:00） ホームビジット送り（15:00） 姉妹都市委員会主催さよならパーティー（17:30） ホテル着（21:00）
10/20 (月)	ホテル発（7:30） ダラス・フォートワース空港（12:35） ラスベガス空港着（13:35）
10/22 (水)	ラスベガス滞在 ロサンゼルス空港着（10:05） ロサンゼルス空港発（12:20）
10/23 (木)	成田空港着・解散（16:20）

《インターナショナルデー》 「世界市民」を目指して開催

村上にあるフルガーデンで、昨年9月28日（日）午後1時からインター・ナショナルデーの一環として「第3回八千代で世界と出会う——踊って、食べて、友だちになろう！」が開催されました。このイベントは、八千代市発「世界市民」を目指して、八千代市国際交流協会が更に成長していこうと行われたものです。

今回のイベントでは、ハワイアンとサンバの2つが行われました。ハワイアンバンドとしてはモアニ・ウィンズ、フラチームとして橘純奈ハワイアン&タヒチアンダンスクラブが、また、サンバチームとしてエストラーニョ・サンバチームがそれぞれ参加しました。会場と一体となった演技、特にサンバチームの演技のときは立ち見も出るなど、その華やかさに多くの人が圧倒されていました。

このほか、特に昨年は「日伯交流100周年記念」に当たるため、「ブラジル食品フェア」と題し、地球の裏側の味を食べてみようということで、ブラジル・

▼子どもたちと一緒にサンバを踊るサンバチーム



ショップ/モンテ・ヤマザキさんに出店していただき、大盛況を収めました。

また、今年も展示ブースは、国際姉妹都市部会、語学ボランティア部会、日本語指導ボランティア部会の3部会が出展しました。国際姉妹都市部会では、タイラー市との交流事業を行っており、これまでに八千代市から延べ185人がタイラー市を訪問し、タイラー市からは延べ232人が八千代市を訪れ、友好の輪を広げています。また、語学ボランティア部会では、英語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語が堪能な人たちがいます。タイラー市との姉妹都市交流や防災・検診などへの翻訳・通訳の協力を行っているほか、部会内の親睦を図るため語学研修会などを定期的実施しています。また、日本語指導ボランティア部会では、村上公民館、八千代台東南公共センター、阿蘇公民館で行われる7教室で外国人の皆さんの日本語学習のお手伝いをしております。



▲真夏のころを思い出しますハワイアンの方



◀お客さんの入りも十分だったモンテ・ヤマザキさん

来年は開催時期を考慮し、より実り多い大会にしたいと思っています。



第2回日本語スピーチコンテストを開催

日本語指導ボランティア部会 鈴木幸一

平成20年10月11日（土）、「第2回日本語教室スピーチコンテスト」が開催されました。参加者は3連休のためか、ややスピーチする方は少なかったのですが、ご家族や講師の先生方を含めると50余名でした。日ごろの学習の成果を披露し、豊富な話題を一生懸命に語り異文化の体験を真剣に話されたり、ときにはユーモラスな楽しいスピーチありと、内容の濃いスピーチ大会となりました。

研修旅行で鬼怒川温泉へ

語学ボランティア部会 河合晴子

秋恒例となっている語学ボランティア部会の研修旅行が平成20年11月14日・15日の両日行われました。紅葉が真ただ中の鬼怒川温泉へ1泊2日の旅となりました。参加者は八千代市のALT（外国語指導助手）の方4名、ジリアン・ライトフットさん（タイラー市）、ペトラ・ロドリゲスさん（タイラー市）、バシーマ・ナサーさん（タイラー市）、テサ・クロスビーさん（トロント市）と語学ボランティア部会の会員12名の合計16名でした。

好天に恵まれ、バスの車窓から見える鮮やかな紅葉にALTの方々をはじめ、皆さん感激の様子でした。途中のレストランで昼食のおそばを食べてホテルへ直行しました。紅葉に囲まれた鬼怒川ライン下りを楽しんだ後、ホテルの会議室で研修旅行の目的である語学研修会を開催しました。ALTが英語でそれぞれの体験談、旅行印象記、趣味、考え方等多岐にわたって講義をしてくれました。ALTの皆さんは20代の女性ですが、しっかりした考えを持ち、積極的に頑張っている様子が講義を通じて伝わってきました。それぞれ英語教師として活躍されている中学校でも、この熱意がきっと中学生に伝わっていることでしょう。語学の勉強もさることながら、今の若い人たちの積極性に感心させられる内容の有意義な講義でした。また、語学ボランティア部会の日本人参加者から英語の自己紹介が行われ、普段あまりお話しすることの少ない方々の意外な一面を発見できました。

翌日はホテル近くにある湯けむり会館で、人情時代劇歌舞踊ショーを鑑賞して帰路につきました。行き帰

りともバスに乗車の旅行でしたので、会員同士の親睦がより一層深まりました。語学の研修はもとより、海外の文化・習慣などにもちょっぴり触れた楽しい旅でした。



▲ALTも加わり充実した研修旅行に（鬼怒川温泉）

▼湯と溪谷の舟旅、鬼怒川ライン下りを楽しむ会員たち



●20年度予算の概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成20年度予算が平成20年4月19日に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです。

■収入		単位：円
科 目		金 額
1. 会費収入	1. 会費収入	730,700
2. 補助金	1. 補助金	1,600,000
3. 繰越金	1. 繰越金	159,310
4. 雑収入	1. 雑収入	990
合 計		2,491,000

■支出		単位：円				
科 目	金 額	摘 要				
1. 事業費 1,157,000	400,000	1. 謝金	160,000	出演者・協力者謝金		
		2. 需要費	210,000	ポスター制作・事務用品など		
		3. 役務費	30,000	イベント告知など		
2. 広報事業費 220,000		1. 需要費	150,000	広報紙「cliP」印刷		
		2. 役務費	70,000	広報紙「cliP」郵送		
3. 部会事業費 537,000	537,000	1. 部会事業費	537,000	姉妹都市部会、日本語指導ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流推進部会		
		1. 事務費 1,184,000	1. 需要費	67,000	プリンタインクトナー等消耗品	
			2. 委託料	150,000	ホームページ制作委託料	
			3. 役務費	274,000	総会・理事会開催通知郵送等	
			4. 備品購入費	0		
				5. 人件費	588,000	事務職員給与
				6. 研修費	45,000	30人×@1,500円
				7. 負担金	10,000	千葉県国際交流センター団体会費
		8. 交際費	10,000			
3. 予備費 150,000	1. 予備費 150,000	1. 予備費	150,000			
合 計		2,491,000				

アミーゴ AMIGOこども日本語教室

日本語指導ボランティア部会 鈴木正俊

日本語指導ボランティアの間で、長年の懸案でした「こども日本語教室」が、村上地区の就学年齢にあたる児童生徒たちを対象に平成20年4月から始められました。ボランティア団体である八千代市国際交流協会の日本語指導ボランティア部会が主体となったものです。市、教育委員会及び学校の積極的な姿勢のもとで協議が重ねられ、平日の毎週水曜日の午後2時から4時までの時間帯に「こども日本語教室」が開かれるのは、千葉県でもまれなケースとして注目されました。

村上地区は市内で最も多くの外国人居住者がおり、小・中学校に通う外国籍の児童は70名あまりとなっています。他の地域に先立って始められた日本語教室の初日を新学期の始まる4月2日（水）としたため、参加者が皆無ではないかとボランティア8名は不安のうちに当日を迎えましたが、昨年の夏に実施された「サバイバル日本語講座 in 八千代」に参加した児童や他の学校から数名、計12名の参加がありました。にぎやかにスタートすることができました。

その後、村上地区に移住してきた児童が次々に参加する一方で、「にほんご教室」に来なくなる生徒も出てきております。4月からの参加者は34名になりました。現在は20名（小学生7名・中学生10名・不就学他3名）の参加者となり、その内、11名から15名の児童が元気に通ってきています。国別に多い順を申し上げますと、フィリピン、ブラジル、メキシコ、ペルー、中国、韓国となっています。

「こども日本語教室」創設時の目的であります「児童生徒たちにとって居心地の良い場所を提供」ということについては、当初からの生徒たちが4名定着し、夏休み後も参加者が増加していることで、一安心しています。また、お盆休みを1日取るだけで夏季休暇中も教室を開き、ようやく8か月ほど経過しましたが、

その間、児童生徒たちの成長と笑顔を見るのが指導ボランティアにとって何よりの喜びとなっています。

これまで指導ボランティアの入れ替わりがあったりして、増える生徒の対応に困難なこともありました。多くの方々に支援をいただいたことで、今日を迎えられたことを幸いと思いますし、これからも増え続ける八千代市在住の外国籍児童生徒たちにとって最良の日本語学習システム構築と他の地域への展開の重要性、必要性を指導ボランティア一同で再認識しております。



▲グループで日本語学習

●会員募集

八千代市国際交流協会では、次の4つの部会の会員を募集しています。

▷部会名／国際交流促進部会・語学ボランティア部会
・国際姉妹都市部会・日本語指導ボランティア部会

■年会費…個人：2,000円 家族：3,000円 学生：1,000円 サークル：10,000円

■入会方法…①会費を持参して直接事務局で入会手続きをする ②氏名・住所・電話・ファックス・希望する部会を事務局に郵送し、口座に会費を振り込む（千葉銀行大和田支店〈035-332464〉八千代市国際交流協会会長・周郷紀男〈スゴウミチオ〉のいずれかをお願いします。

■詳しくは事務局（八千代市役所国際推進室内047-752-0593）までお問い合わせください。

編集後記

八千代市国際交流協会は平成18年1月に設立され3年が経過しました。現在は個人会員215名、家族会員8、団体会員26と大きな会員を擁します。今日はこの1年間、精力的に活動してきた事業をご紹介します。

内なる国際交流は市内に在住する外国人が対象です。開催順に申し上げますと『AMIGO(アミーゴ)』こども日本語教室、サバイバル日本語教室、インターナショナルデー、日本語スピーチコンテストを開催しました。このほか、会員による語学研修旅行での語学

研修会が実施されています。また、外なる国際交流として、国際姉妹都市提携16年を迎え、米国テキサス州タイラー市との交流があります。昨年10月にタイラー市に親善訪問団を派遣しましたが、新しいタイラー市長のもとで記念ガーデンの開設、八千代の日の制定と大歓迎を受け、交流が一層深まりました。今回は特にタイラー市在住の日本人が通訳として参加され、地元日本人会の名声を大きく上げました。

当会は会員を常時募集しております。国際交流にご興味のある方はぜひ入会していただき、一緒に活動いたしましょう。（瀬下）